2011年10月29日から1週間、愛宕町のピースランドで開催される▲ひぐらしガーデン▼

2011年10月30日▲ひぐらしガーデン▼その日暮らし作品が城山公園で屋外展示されます

WORKSHOP

ドームテントをたてよう

“日球ドームをたててお祭りをしよう”

『日球ドーム』とは…

日球ドームは、２０世紀のレオナルド・ダ・ヴィンチとも称されるバックミンスター・フラーが最小で最大を為すという思想から発明したジオデシックドームの構造を採用して製作したドームテントです。

その構造は最小の表面積で最大の体積を持つ球を再現するにあたり、正多面体として存在する正４面体・立方体・正８面体・正１２面体・正２０面体の中でも、最も球に近い正２０面体をベースにデザインしております。この正２０面体の各辺を分割することによって、より球体に近い構造となり、分割された各点を繋ぎ合わせた三角形で構成されます。

理論上、ドーム構造は強風に強いと言われ、自然環境の苛酷な富士山頂の気象レーダー施設として、ジオデシックドームが採用された（現在は富士吉田市の富士山レーダードーム館に移築）経緯があります。

日本人と同じルーツを持つモンゴロイドには、モンゴルのゲル（パオ）やネイティブアメリカンのティピといった移動型住居の文化があります。

それら先駆者のスピリットを胸に…『日』本から『球』の文化を発信して行きましょう！

『未知の向こうに、本当の道がある。』

現在の私たちの生活を取り巻くたくさんの事・物、これらは昔からそのカタチをもって存在していたわけではない。数知れぬ多くの先人達が、未知の世界を切り開いて、道を作ってきたからこそ、私たちはその道の上を歩く事が出来る。

混迷を極める現代社会、驚異的な技術革新により、"固定電話"から"携帯電話"へ、"巨大発電所の電力供給"から"独立型発電システムによる電力の自給"へというように、独立性の高いテクノロジーが従来の社会構造を変革しつつある事は自明の理といっても過言ではない。

この変革よって、私達一人一人の生活は、より大きな自由を獲得する事が可能となっているのは、紛れもない事実である。私はこのようなテクノロジーを"解放系テクノロジー"と呼びたい。

日球ドームは、建築分野における"解放系テクノロジー"として、家は動かないもの・不動産であるという居住理念を改革し、動的なプロダクト・移動する居住空間という次代の生活のカタチを作り出すプロジェクトです。

PROFILE　学生時代の旅をきっかけに、動く家を志し、設計事務所やドームハウスメーカーを経て、2003年にオリジナルデザインによるジオデシックドーム型テント『日球ドーム』を製作。以後、全国津々浦々で開催される野外フェスやお祭りなどに出没するようになる。2006年に活動母体となるナナヒトを立ち上げ、2011年7月、拠点を飛騨高山に移し、鋭意活動中！

問い合わせ先　ナナヒト TEL:090-2743-9469 E-mail:nanahito@gmail.com URL=http://nanahito.com/

様々な分野の作家さんが集結し、その日暮らしをテーマにした作品を展示します。